

事務事業名		林地崩壊防止事業		所属部	農林振興部	所属課	農林土木課	
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>		所属G	農林道G	課長名	細木浩之	
	施策名	(17)消防・防災対策の推進		担当者名	山本 大策	電話番号	0854-40-1053	
	目的:対象	市民	意図	生命・財産を火災・災害から守る。				
	基本事業名	(050)防災施設の整備		予算科目	会計 款 大事業 大事業	林地崩壊防止事業		
目的:対象	市民	意図	被害にあわない、拡大しないように防災施設を整備する。				中事業 中事業	林地崩壊防止事業
				0 1 3 0 0 1				
				1 0 4 0 0 1				

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H25 年度~)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
降雨により人家裏山が崩壊し人家に影響を及ぼした場合、その復旧を目的とする。 復旧工法:コンクリート擁壁、簡易法枠、現場吹付法枠 事業費は100万円以上 地元負担は10%・12.5%・15%のいずれか(世帯の所得状況による) 補助率は 住民税非課税世帯が事業費の1/2、世帯の最高所得者の住民税課税標準額250万円未満が(事業費-100万円)×1/2、世帯の最高所得者の住民税課税標準額250万円以上が(事業費-200万円)×1/2 H29年度 負担率10%:6か所、12.5%:6か所

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	30年度実績(30年度に行った主な活動) 現場確認 申請業務 復旧工事 繰越6か所 現年6か所	元年度計画(元年度に計画する主な活動) 災害が発生したら取組む。 復旧工事(繰越分)5か所				
	② 活動指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	ア 事業費(現年)	千円	0	5,528	28,545	4,000
	イ 事業費(繰越)	千円	0	0	26,682	43,500
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	被災箇所	③ 対象指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
			ア 申請箇所数	箇所	0	7	11	5
			イ					
			ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	被災箇所を復旧する	④ 成果指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
			ア 完了箇所数(現年)	箇所	0	1	6	5
			イ 完了箇所数(繰越)	箇所	0	0	6	5
			ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (30年度決算)	② コストの推移	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)
繰越(H29災)6箇所 工事費:26,354千円 事務費:328千円 計:26,682千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
現年(H30災)11箇所(H31へ繰越5箇所) 工事費:24,149千円 委託費:3,802千円 事務費:594千円 計:28,545千円 合計:55,227千円		県支出金	千円	1,766	23,973	22,061
	事業費	地方債	千円	2,900	25,400	19,700
		その他	千円	334	5,648	5,717
		一般財源	千円	528	206	22
		事業費計(A)	千円	5,528	55,227	47,500
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	
		延べ業務時間	時間	200	700	
		人件費計(B)	千円	815	3,032	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	6,343	58,259	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
特記事項なし	特記事項なし	二次被害等危険があるため、早期復旧の要望がある。

事務事業名	林地崩壊防止事業	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	基準に基づく計画及び復旧をしており向上余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		
⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？			
	<input type="checkbox"/> 影響無	理由	受益者が全てを負担しての復旧になり負担が重くなる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる		
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由	人家裏山の崩壊に対する復旧事業はこれのみである。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	受益者負担があることから、負担可能な範囲での事業費決定としている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	現場管理を考慮すれば削減の余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由	申請により対応している。受益機会は均等である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	人家裏の施工性の悪い場所での復旧工事が多くなる。早期復旧に努め、生活の安全が確保された。
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持低下</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持低下	●	×			×	×
		コスト																		
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持低下	●	×																	
		×	×																	
県と連携し、引き続き円滑な事業推進に努める。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			